

報道関係各位

岩手県立大学総合政策学部

条件付特定外来生物アメリカザリガニの駆除に貢献する 「ザリガニ捕獲トラップ用アタッチメント」が特許登録されました

岩手県立大学総合政策学部の鈴木正貴准教授と学生の研究グループが開発した「ザリガニ捕獲トラップ用アタッチメント」が、令和8年1月19日に特許登録されました。

本研究は、条件付特定外来生物であるアメリカザリガニの効率的な駆除を目的に、研究成果を地域の現場に還元することを重視した実学実践型の研究として進められました。

ぜひ取材のうえ、本研究の成果について、地域の皆様への周知にご協力ください。

記

1 背景：外来種問題と捕獲現場の課題

アメリカザリガニは、生態系や農業に影響を与える外来種として各地で駆除が実施されているものの、従来の籠型の市販トラップでは、一度捕獲された個体が再び外へ逃げってしまうケースが多く、捕獲効率の低さが課題となっていました。

2 研究成果の概要

今回開発されたアタッチメントは、市販されている安価な籠型トラップに後付けできる簡易構造が特長です。市販のクリアファイルなど、曲げても壊れにくい樹脂製シートを円筒状に設置し、中央に設けた穴からザリガニをトラップ内へ落下させることで、捕獲後の脱出を防ぎます。構造がシンプルで低コストなため、現場での導入が容易です。

3 実証実験による効果

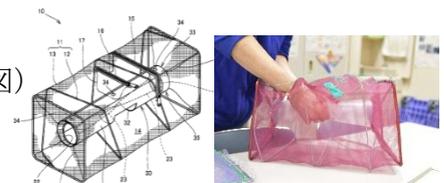
実際の池で行った比較実験によれば、従来の籠型の市販トラップのみでは203匹であった捕獲数に対し、本アタッチメントを装着したところ940匹を捕獲し、捕獲効率が4倍以上に向上しました。室内実験でも脱出個体がほとんどないなど、高い有効性が確認されています。

4 学生の研究成果を社会へ

本研究は、総合政策学部の学生による卒業研究を出発点とし、約10年にわたるフィールド調査と改良を経て実用化されました。教育と研究の成果が特許という形で結実し、地域社会の課題解決につながった点は、本学が重視する「実学」の成果といえます。

【特許の概要】

- ・ 発明の名称：ザリガニ捕獲トラップ用アタッチメント（右図）
- ・ 特許番号：第7807072号
- ・ 登録日：令和8年1月19日



<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-7807072/15/ja>

※次ページに拡大図と

<https://www.iwate-pu.ac.jp/information/sonota/report002.html>

使用時の注意事項あり

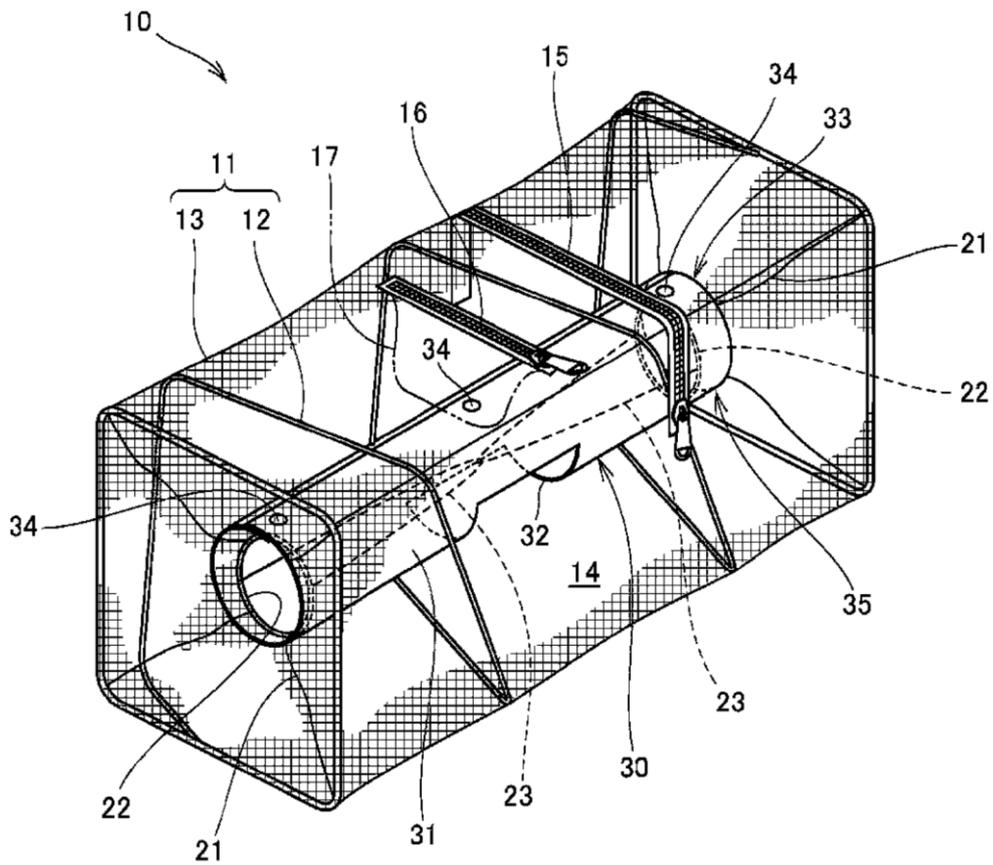


地域に 未来に 多様なアーチを
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

【問合せ先】岩手県立大学総合政策学部 准教授 鈴木 正貴

メール：s_masaki@iwate-pu.ac.jp

ザリガニ捕獲トラップ用アタッチメント (図)



ザリガニ捕獲トラップ用アタッチメント (写真)



※ 籠型トラップの使用には、都道府県知事による特別採捕許可が必要となる場合があります。実際に利用する際は、事前に各都道府県の関係窓口（水産部局）へ確認するよう呼びかけています。